

ネオテクノロジーの新しい特許調査のスタイル

過去の出願動向を把握し、自社の出願領域を特定した上で、出願戦略を構築したい。

技術開発のスピードが加速し開発期間が短縮化する中で、製品を差別化し事業を有利にするために、有力な特許網を構築することが特許戦略の重要な鍵となっています。そのためには、過去の出願動向を把握し、自社の出願領域を特定した上で出願戦略を構築するための特許調査が欠かせません。ネオテクノロジーは「特許と技術の連係」を重視し、お客様企業の特許担当者と開発技術者の双方にご満足いただける新しいスタイルの特許調査で好評をいただいています。御社でも、ぜひ、ご活用をご検討ください。

事例

エレクトロニクス C 社は自社の強みである生産プロセスを用いて新しいデバイスを開発したいと考えている。過去 20 年間の特許出願動向を調査して技術の変遷を把握し、自社の出願領域を特定したい。その上で、自社の強みを活かした特許戦略を構築したい。

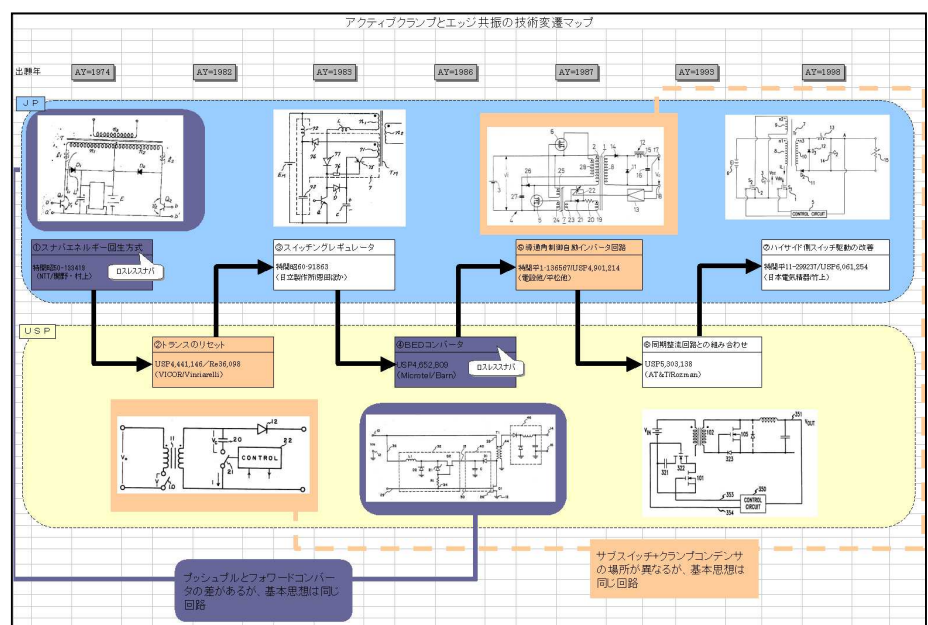
直近 2 年間の特許データ（約 800 件）を用いて発明観点を把握。

2000 年以降のデータを追加して俯瞰的に体系化、自社の出願領域を特定。

重要観点到絞って 20 年間遡及（約 1,500 件）して過去の技術動向と出願内容の変遷をマップ化。

調査結果を基に技術検討会を行い、出願と開発で攻める重点領域を明確にして特許戦略を構築。

“技術”と“特許”に精通したネオテクノロジーの技術 TE(Technical Expert)が特許調査を行い、技術の変遷をわかりやすく解説します。



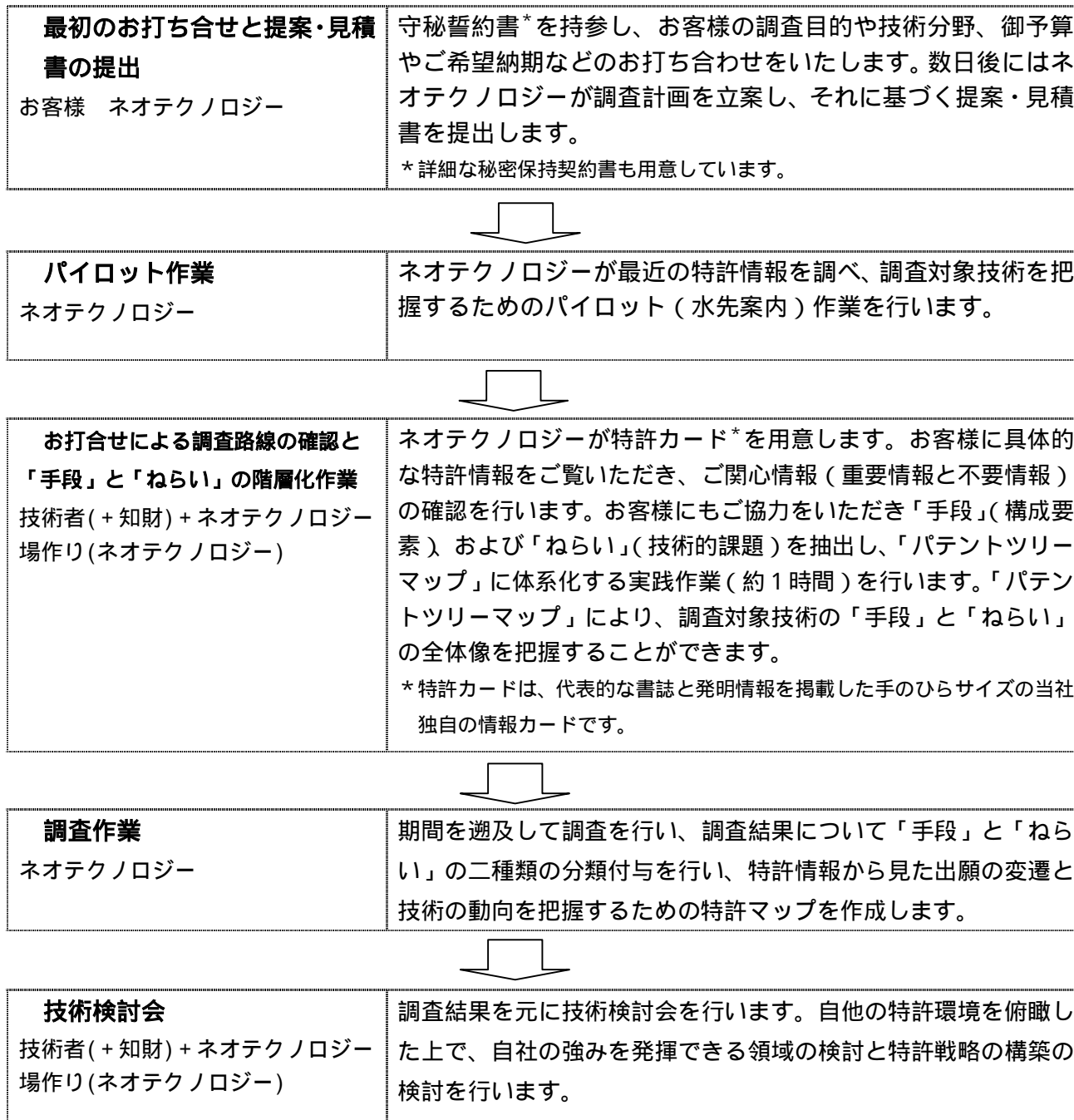
アクティブクランプとエッジ共振の技術変遷マップ

出典：「日・米特許情報にみる「エッジ共振」の技術動向」より

<http://www.neotechnology.co.jp>

事例 ネオテクノロジーの新しい特許調査のスタイル

《特許調査フロー》



ここにご紹介した事例のように、ネオテクノロジーはお客様のご要望に合わせて、知財と技術が連係した新しいスタイルの特許調査をご提案しご好評をいただいております。

特許調査のご相談やご要望などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

株式会社ネオテクノロジー

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-13 鈴木ビル 2F

TEL 03-3219-0899 FAX 03-3219-7066

<http://www.neotechnology.co.jp> toiawase@neotechnology.co.jp